

株式会社ニレコ

会社説明会資料



平成16年8月6日(金)

~ 目 次 ~

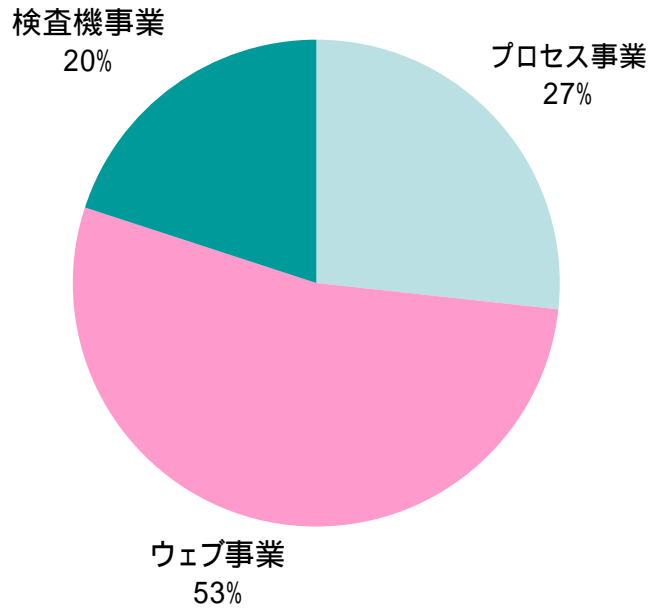
1) 会社概要	P 3 ~ 12
2) 今後の事業戦略	P 13 ~ 22
3) 決算の概況	P 23 ~ 26
4) 今期の見通し	P 27 ~ 28
5) トピックス	P 29 ~ 32
6) 株主還元策	P 33 ~ 34

会社概要

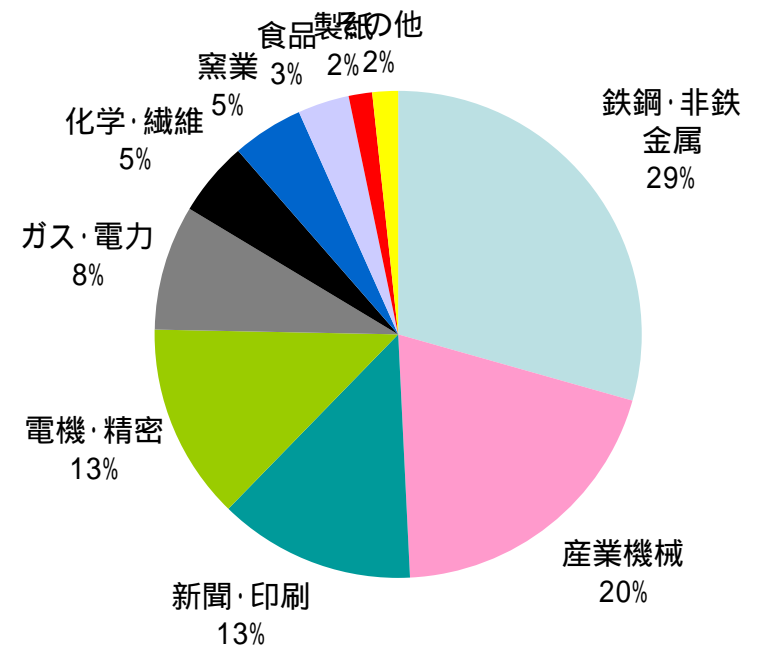
- 会社名 株式会社ニレコ
- 所在地 東京都八王子市石川町2951-4
- 設 立 1950年11月
- 市 場 JASDAQ (1989.10上場)
- 資本金 3 , 0 7 2 百万円
- 株主数 7 0 7 名 (04.3期末)
- 時価総額 6 7 億円 (8/4現在)
- 従業員数 3 4 1 名 (04.3期末) * 2 3 4 名
- 事業内容 計測・制御機器の製造販売

注) * 印は単体ベースの数値

【売上構成(04/3期)】



【ユーザー構成(04/3期)】



これまでの事業展開の経緯

昭和25年

昭和45年

昭和60年

平成6年

平成15年



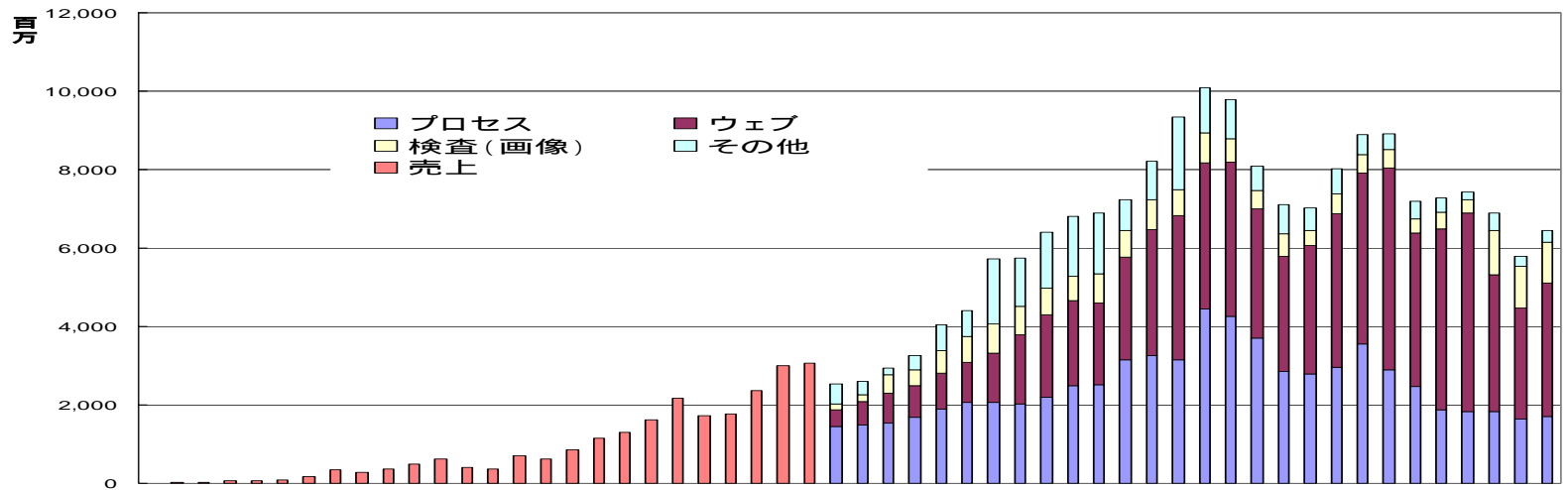
鉄鋼重工業向け制御技術の要請が高まり、八幡製鉄・富士製鉄・東洋高圧工業、三井化学工業・日本鋼管の出資で設立

クロスフィールド社との技術提携等により、印刷製紙産業向けに事業領域を拡大

見当合わせ制御の相次ぐ新製品開発により印刷向け事業拡大が本格化

海外事業を強化
ピーコンの開発により、品質検査装置の取扱開始

検査機事業への本格展開を開始

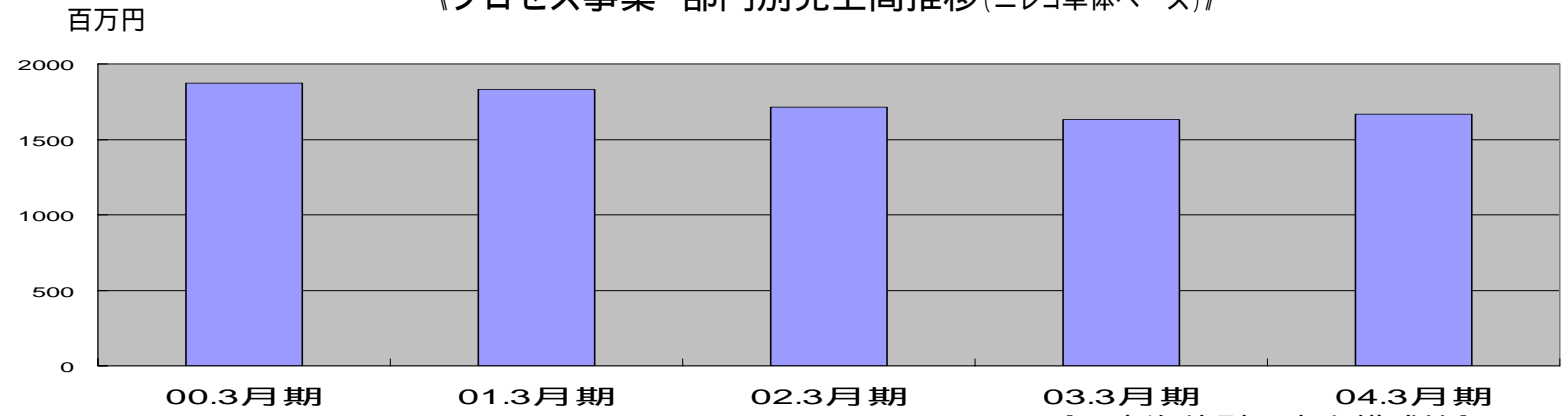


ニレコ製品のユーザー

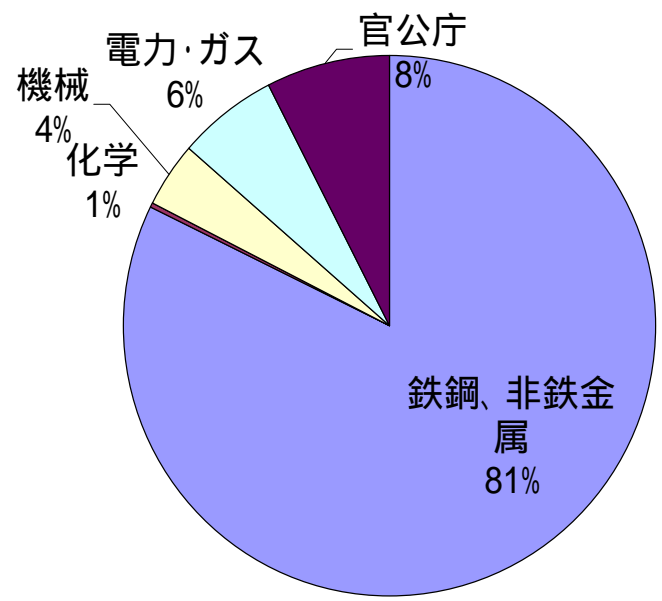
事業	主な製品	ユーザー
プロセス事業	プロセス制御装置 耳端位置制御装置（EPC） 自動識別印字装置（マーカー） 渦流式溶鋼レベル計	鉄鋼・非鉄金属・化学・ガス・電力
ウェブ事業	耳端位置制御装置（EPC） 張力制御装置 見当合わせ、切断制御装置 糊付け装置	印刷・新聞・製紙・繊維・ゴム・フィルム
検査機事業	印刷品質検査装置（ビーコン） 無地検査装置（DIPS） 電子機器検査装置 画像処理解析装置（ルーゼックス）	印刷・鉄鋼・非鉄金属・電機・精密機器

プロセス事業

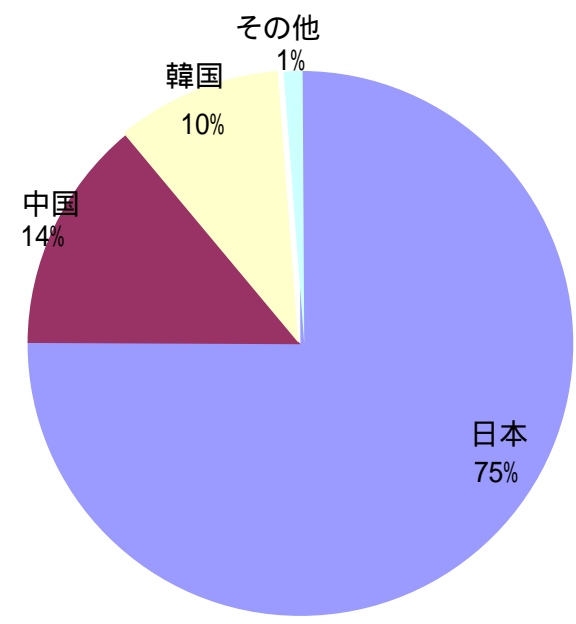
〈プロセス事業 部門別売上高推移(ニレコ単体ベース)〉



【プロセス事業のユーザー業界構成比】

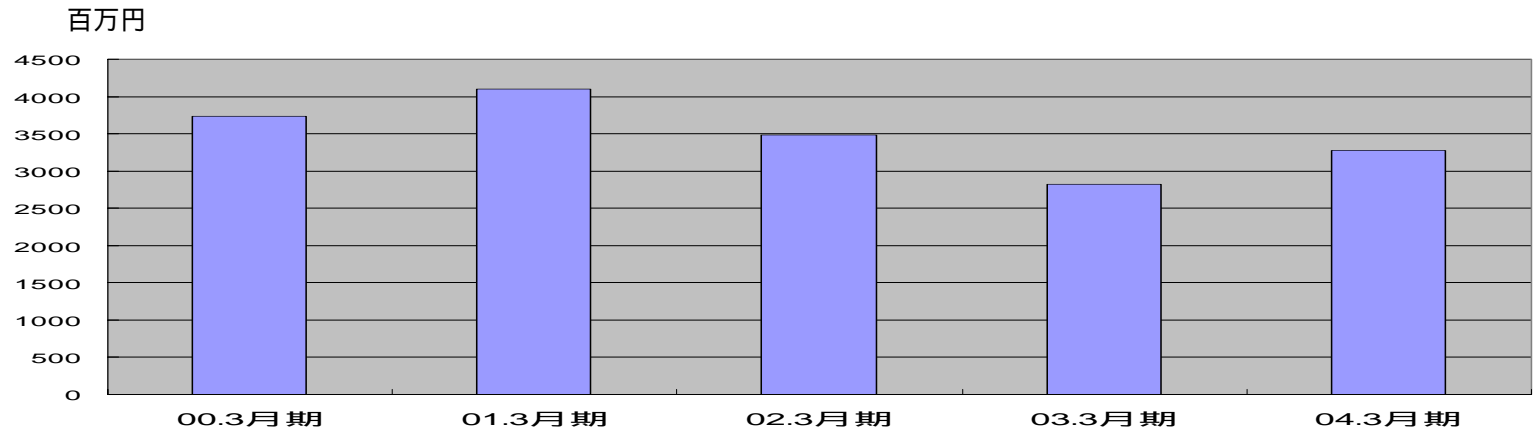


【国内海外別の売上構成比】

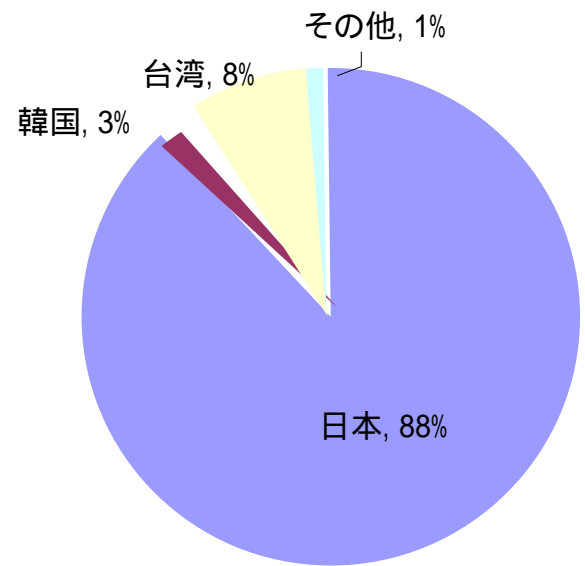


ウェブ事業

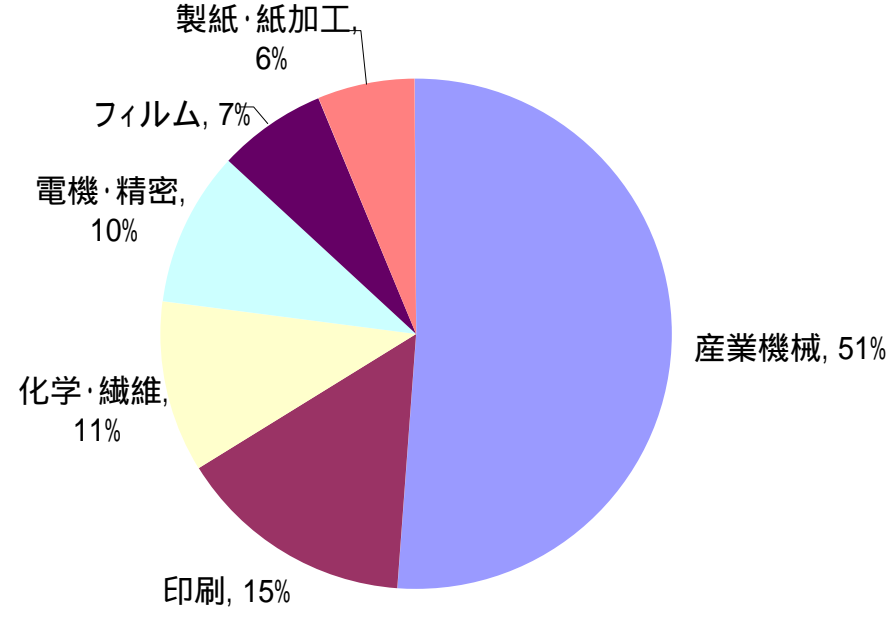
《ウェブ事業 部門別売上高推移(ニレコ単体ベース)》



【国内海外別の売上構成比】

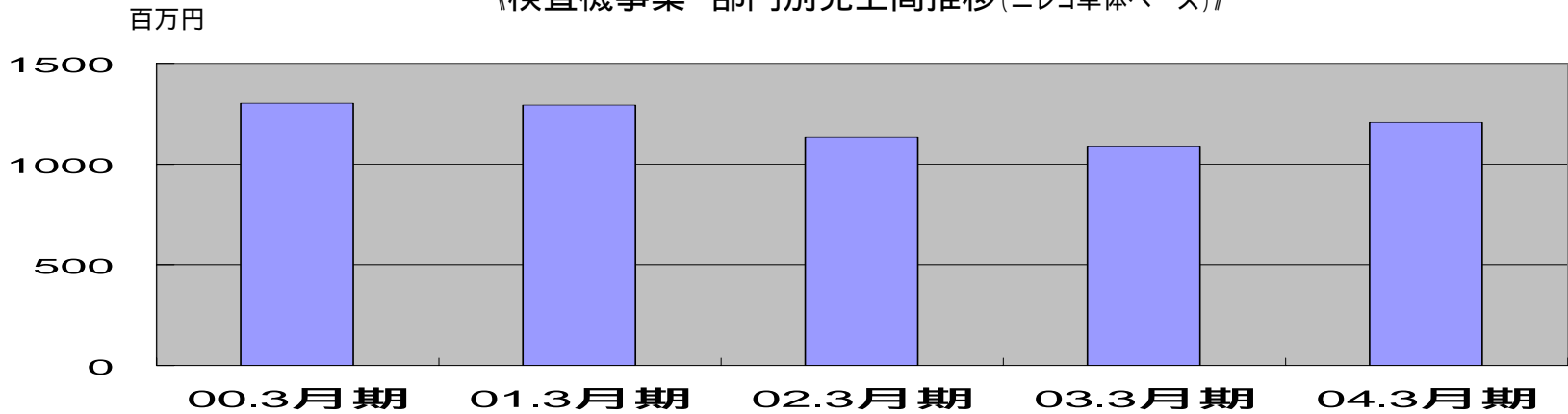


【ウェブ事業のユーザー業界構成比】

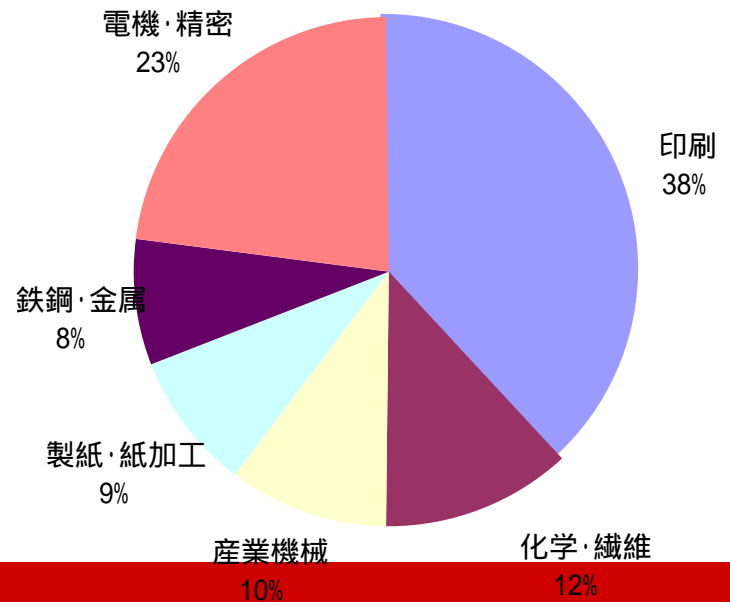


検査機事業

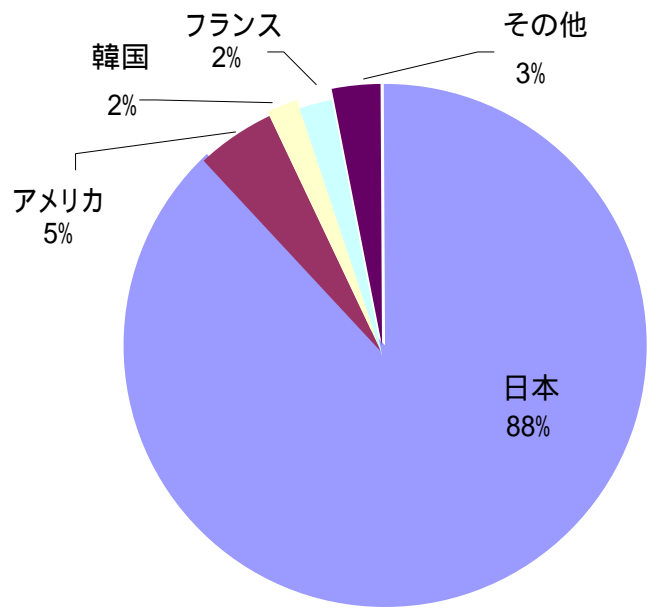
《検査機事業 部門別売上高推移(ニレコ単体ベース)》



【検査機事業のユーザー業界構成比】



【国内海外別の売上構成比】



印刷品質検査装置 (BCON)

印刷物のよごれや品質の検査
食品パッケージからグラフィアまで
3板式カメラと画像処理技術



〈当社の位置付け〉

世界市場規模	40～45億円程度
競合企業	ヒューテック
当社世界シェア	25～30% (推定)

無地検査装置(DIPS)

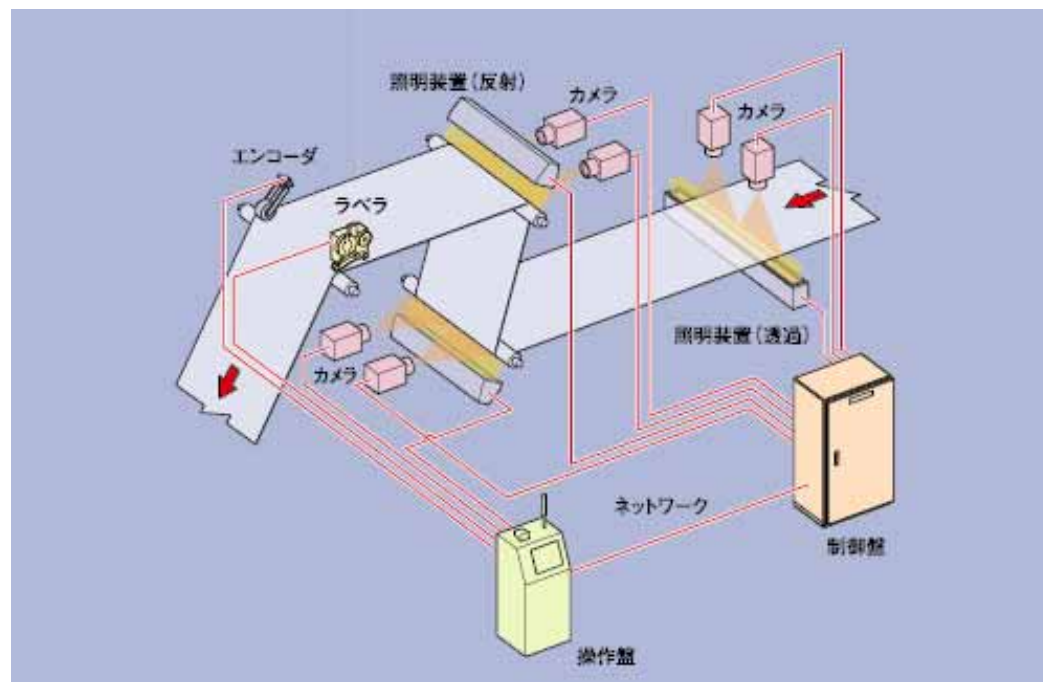
紙・フィルムから金属まで幅広い用途

素材の汚れや疵の表面検査

無地検査装置のコントローラ



無地検査装置システムのイメージ



今後の事業戦略

各事業の方向性

プロセス事業
(鉄鋼、電力)

中国・韓国への販売拡大により国内需要の
低迷を補い安定した業績推移

ウェブ事業
(印刷、紙加工、フィルム)

市場拡大による伸長

検査機事業

新たなビジネスへのチャレンジ

新規製品開発の推進

特徴ある製品づくり

収益体質の強化

間接部門を中心にスリム化

～ プロセス事業 ～

〈最近のユーザーの状況〉

- (国内) 主要国内ユーザーである鉄鋼業界は会社の合併・グループ化によって設備の統廃合が進み、新規の設備投資は少ない。既設の更新需要が高まってきている。
- (海外) 韓国、台湾、中国が中心で、とくに中国では新規の設備投資が活発である。ただし、価格競争が激しい。

アジアの潜在市場への期待は大きい。当面は韓国・中国需要が国内の需要の落ち込みを補うことで安定した業績推移を見込む。このために、現地で一部製造のライセンス契約と販売代理店契約を締結し、価格競争力およびサービス体制を強化。

韓国市場

世界最大の生産量を誇る「浦項製鉄所」がターゲットの中心。信友機電とのライセンス契約によりコストを削減。

中国市場

欧州企業が先行シェア。中国重型機械公司(CHMC)と代理店契約を締結し、シェア奪取への体制整備を固める。

～ウェブ事業～

〈最近のユーザーの状況〉

- (国内) 主要国内ユーザーのうち印刷・紙加工業の新規設備は鈍化したものの、電子部品素材やFPD関係の設備投資が伸びるなど、新たな分野に市場を拡大している。
- (海外) 海外では印刷関係の設備需要は大きい。ただし、価格競争は激しく、フレキソ印刷等 日本とは異なる印刷方式への対応が必要。



- (国内) 今期中は電子部品素材やFPD等の好調は続く。
- (海外) 印刷業を主要対象に据え、アジア、米国、欧州の現地法人を拠点に的を絞った拡販とサービス体制。とくに中国に現地法人を設立し、生産コストダウンと販売・サービスの拠点とする。

韓国

NASAN NIRECOを拠点に電子部品用素材やFPD用特殊フィルム関係を主に展開

台湾

仁力克股份有限公司(子会社)を拠点にグラビア印刷向け見当合わせ制御装置を積極的に拡販

中国

(中国) 尼利可自動制御機器(上海)有限公司(子会社)を設立し生産拠点を確保、武漢華茂工業公司、と代理店契約

欧米

(米国) NIRECO AMERICAの設立
(欧州) CALGRAPH社(フランス)の全株式取得による子会社化

～ 検査機事業 ～

プロセス、ウェブ事業に続く第3の事業としての新たなビジネス。既存事業の新たなニーズに応え品質検査装置を開発し、国内市場を主に開拓としつつも、海外展開も併行させる。

印刷関係

～ BCON ～

印刷用の品質検査装置として
「BCON」を販売

主な対象は、グラビア印刷、商業用
オフセット輪転印刷、包装材など
今後はラベル印刷、フレキソ印刷に
も対応製品を開発

電子部品・材料関係 ～ 電子機器検査装置 ～

半導体関連の検査(BGA/CSPパターン
検査、ウェハー表面検査など)

FPD(LCD、プラズマ)のパターン検査、
LEDのパターン検査など

紙・フィルムなどの素材関係 ～ 無地検査装置 ～

前期より発売開始。素材の汚れや疵を
検出する検査装置で素材の検査に幅広
い用途が見込まれる。

主な対象は、紙の無地検査、フィルムの
素材検査、金属箔の疵検査など

～ 技術開発 ～

ニレコ製品が他社にない独自性をもって業界をリードしていくため、開発の重点を次の点に置いている。

特徴あるセンサ } の開発
 特徴あるアクチュエータ }

最近の開発例

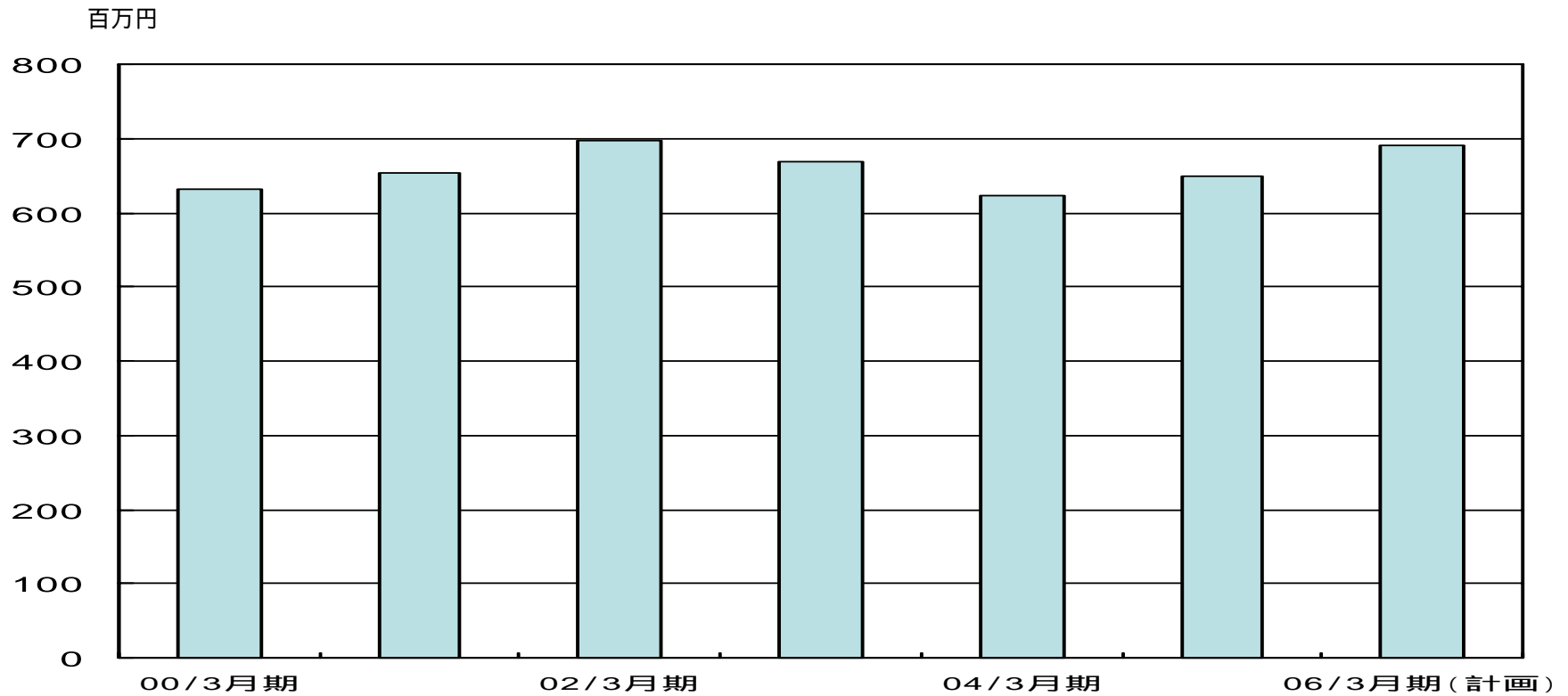
特徴あるセンサ

スチールコード・センサ、商オフ用CPCセンサ、
 スチール・ストリップ・キャパシタスセンサ、
 分光測色センサ

特徴あるアクチュエータ

ユーザーのニーズに応じて、個々の特殊な
 状況に対応した電気式及び油圧式のアクチュ
 エータを常時製作

〈研究開発費の推移〉



中期経営計画(3ヵ年計画)

(単位:百万円)

	04.3期	05.3期	06.3期
売上高(計画)	6,000	6,500	7,000
売上高(実績及び見通し)	6,449	6,800	7,300
プロセス事業	1,666	1,600	1,600
ウェブ事業	3,274	3,200	3,400
検査機事業	1,208	1,800	2,100
その他	301	200	200
営業利益	129	220	440
経常利益	243	300	480

注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

2004年3月期 受注及び販売実績

(単位：百万円、%)

	受注高		売上高		受注残高
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額
プロセス事業	1,610	4.4%	1,666	2.0%	700
ウェブ事業	3,231	12.5%	3,274	15.9%	405
検査機事業	1,221	1.4%	1,208	11.1%	383
その他 (近赤外分析、青果 物検査機など)	283	15.9%	301	21.0%	23
合計	6,345	7.4%	6,449	11.4%	1,511

注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

2005年3月期 受注及び販売見通し

(単位：百万円、%)

	受注高		売上高		受注残高
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額
プロセス事業	1,540	4.3%	1,600	4.0%	640
ウェブ事業	3,250	0.6%	3,200	2.3%	455
検査機事業	1,810	48.2%	1,800	49.0%	393
その他 (近赤外分析、青果 物検査機など)	200	29.3%	200	33.6%	23
合計	6,800	7.2%	6,800	5.4%	1,511

注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

決算の概況

損益計算書の概要

(単位：百万円、%)

	当期 (04/3)		前期 (03/3)		増 減		当初 計画
	金額	比率	金額	比率	金額	伸率	
売上高	7,101	100.0	6,480	100.0	621	9.6	7,000
売上総利益	2,318	32.7	1,874	28.9	444	23.7	-
営業利益	213	3.0	268	4.1	481	黒転	-
経常利益	280	3.9	252	3.9	532	黒転	230
当期純利益	342	4.8	607	9.4	949	黒転	170

注) 当初計画は第3四半期決算発表時に公表した計画値

貸借対照表の概要

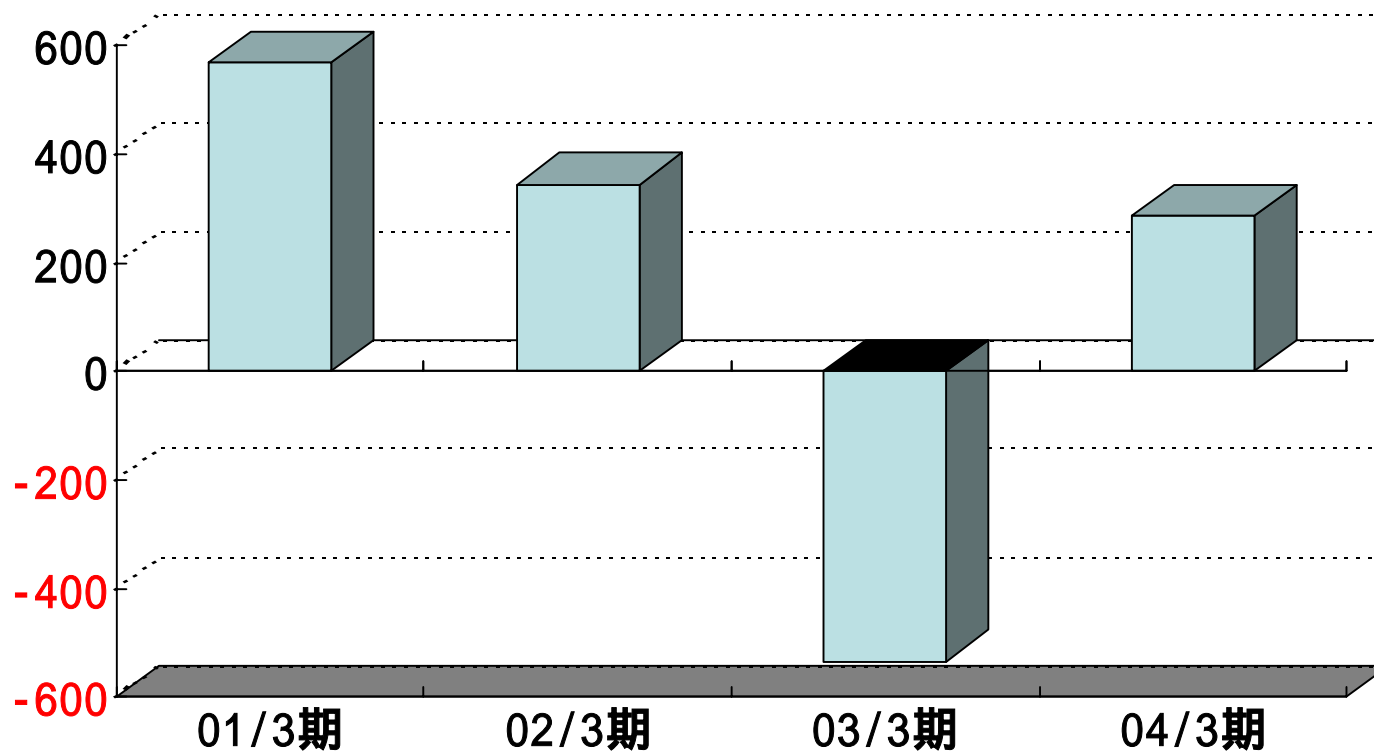
(単位:百万円、%)

	当04/3期末		前03/3期末		増減	備考
	金額	構成比	金額	構成比		
現金預金	2,855	19.4%	2,769	20.0%	86	注
売上債権	3,411	23.2%	2,898	20.9%	513	増収による
有価証券	171	1.2%	369	2.7%	198	
棚卸資産	3,127	21.3%	2,677	19.3%	450	増収による
その他流動資産	282	1.9%	279	2.0%	4	
流動資産計	9,848	67.0%	8,993	64.8%	855	
有形固定資産	1,703	11.6%	1,729	12.5%	26	
無形固定資産	75	0.5%	121	0.9%	46	
投資その他の資産	3,064	20.9%	3,031	21.8%	33	
固定資産計	4,843	33.0%	4,882	35.2%	39	
資産合計	14,691	100.0%	13,876	100.0%	815	
買入債務	612	4.2%	414	3.0%	198	増収による
短期借入金	0	0.0%	21	0.2%	21	
その他流動負債	592	4.0%	483	3.5%	109	未払法人税等
流動負債計	1,205	8.2%	920	6.6%	285	
長期借入金	2	0.0%	8	0.1%	6	
その他固定負債	538	3.7%	474	3.4%	64	
固定負債計	541	3.7%	482	3.5%	59	
負債合計	1,747	11.9%	1,402	10.1%	345	
資本合計	12,703	86.5%	12,207	88.0%	496	注

注 現金預金の増は、主に投資活動によるCFによるものです。
 資本合計の496百万円主な内訳は、その他有価証券評価差額金372百万円、当期純利益342百万円です。

FCFの推移

(単位：百万円)



注)フリーキャッシュフロー(FCF) = 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー

今期の見通し

今期の業績見通し

(単位：百万円、%)

	今期計画 (05/3)		前期実績 (04/3)		増 減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸率
売上高	7,300	100.0	7,101	100.0	199	2.8
売上総利益	2,416	33.1	2,318	32.7	98	4.2
営業利益	310	4.2	213	3.0	97	45.5
経常利益	370	5.1	280	3.9	90	32.1
当期純利益	220	3.0	342	4.8	122	35.7
一株当り利益	24.47	-	31.90	-	-	-

トピックス

海外市場への取組み

プロセス事業

中国・台湾及び韓国の鉄鋼プラント向け需要が国内需要の減速を補完

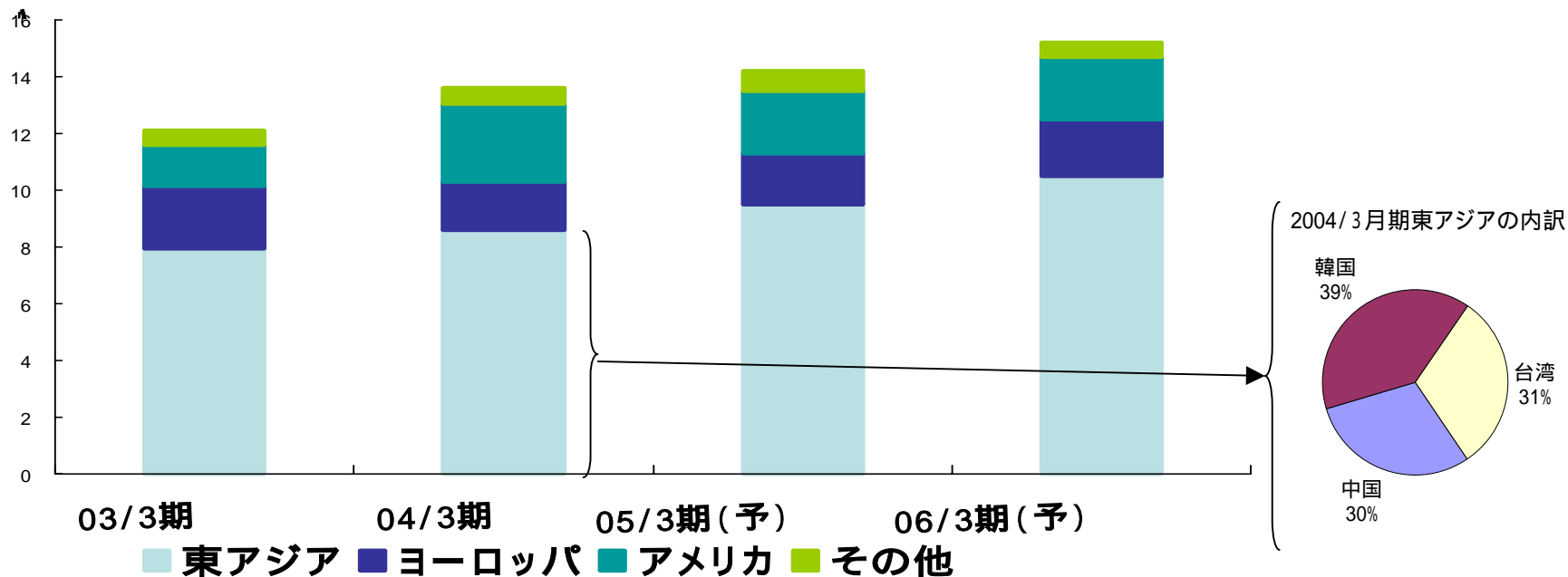
ウェブ事業

アジア、米国、欧州の現地法人で印刷及びフィルム業界向け需要を取り込む

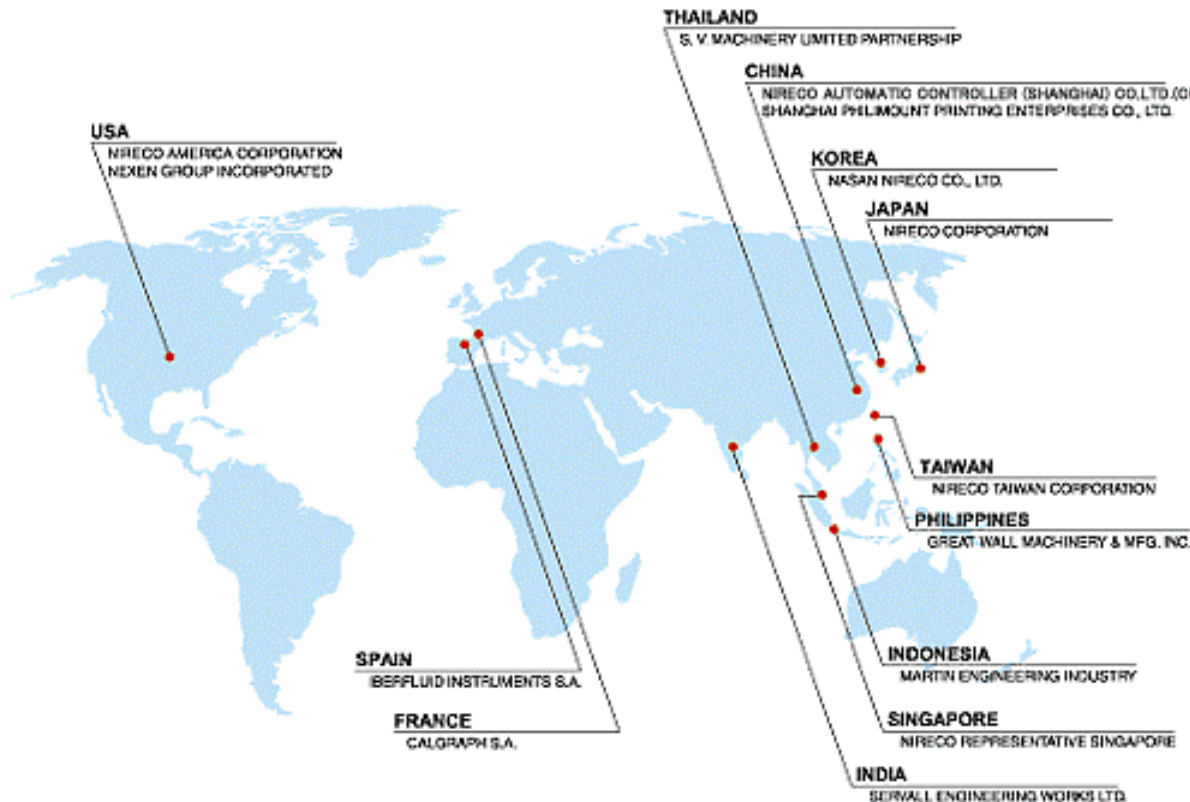
検査機事業

アジア、米国、欧州の現地法人で印刷業界向け製品(BCON)を拡販

(単位：億円)



ニレコの海外ネットワーク



ニレコグループ

韓国 NASAN NIRECO CO.

台湾 仁力克股份有限公司

中国 尼利可自動控制機器(上海)有限公司

フランス CALGRAPH SAS

アメリカ NIRECO AMERICA CORP

代理店

中国 中国重型機械公司

武漢華茂工業公司

インド SERVAL ENGINEERING

シンガポール MINWA AGENCY

この他 サブ代理店がスペイン、タイ、
フィリピン、インドネシア

中国市場への取り組み強化

尼利可自動制御機器(上海)有限公司

昨年11月設立 上海市浦東地区 張高工科技研区

480㎡のフロア面積 9名(内日本人2人)でスタート

中国生産によるコストダウン

当初はウェブ事業の一部製品から着手 最初の生産として、張力制御センサ、ガイドロールを納品

中国市場における販売、サービスの拠点を確立する

6月よりアフターサービス員を1名派遣し、教育を含め本格的なサービス活動を開始
続いて営業員を派遣し、営業活動を開始する予定



株主還元策

企業価値向上に向けた施策

株主への還元

安定配当を確保(財務状況)

増配はこれからの成長を財源にして行う(04年3月期利益配当を2円増配)
ストックオプション(04年6月決議)及び自己株買いの継続

グループの成長と経営の安定

グループの将来を担う検査機事業の伸長と東アジアを中心とした海外展開により、持続的な成長をめざす。

(研究開発費の確保、中国での生産工場建設や販売員の増強等)

業績は景気変動の影響を受けやすく、フリーキャッシュの推移は激しいなかで財務状況の安定を確保する。

(取引先の鉄鋼から電子、フィルムへのシフト)